



9:1 神はノアとその息子たちを祝福して、彼らに仰せられた。「生めよ。増えよ。地に満ちよ。」

9:2 あなたがたへの恐れとおののきが、地のすべての獣、空のすべての鳥、地面を動くすべてのもの、海のすべての魚に起こる。あなたがたの手に、これらは委ねられたのだ。

9:3 生きて動いているものはみな、あなたがたの食物となる。緑の草と同じように、そのすべてのものを、今、あなたがたに与える。

9:4 ただし肉は、そのいのちである血のあるまで食べではない。

9:5 わたしは、あなたがたのいのちのためには、あなたがたの血の価を要求する。いかなる獣にも、それを要求する。また人にも、兄弟である者にも、人のいのちを要求する。

9:6 人の血を流す者は、人によって血を流される。神は人を神のかたちとして造ったからである。

9:7 あなたがたは生めよ。増えよ。地に群がり、地に増えよ。」

9:8 神は、ノアと、彼とともにいる息子たちに仰せられた。

9:9 「見よ、わたしは、わたしの契約をあなたがたとの間に立てる。そして、あなたがたの後の子孫との間に。

9:10 また、あなたがたとともにいるすべての生き物との間に。鳥、家畜、それに、あなたがたとともにいるすべての地の獣、箱舟から出て来たすべてのものから、地のすべての生き物に至るまで。

9:11 わたしは、わたしの契約をあなたがたと

の間に立てる。すべての肉なるものが、再び、大洪水の大水によって断ち切られることはない。大洪水が再び起こって地を滅ぼすようなことはない。」

9:12 さらに神は仰せられた。「わたしとあなたがたとの間に、また、あなたがたとともにいるすべての生き物との間に、代々にわたり永遠にわたしが与えるその契約のしるしは、これである。

9:13 わたしは雲の中に、わたしの虹を立てる。それが、わたしと地との間の契約のしるしである。

9:14 わたしが地の上に雲を起こすとき、虹が雲の中に現れる。

9:15 そのとき、わたしは、わたしとあなたがたとの間、すべての肉なる生き物との間の、わたしの契約を思い起こす。大水は、再び、すべての肉なるものを滅ぼす大洪水となることはない。

9:16 虹が雲の中にあるとき、わたしはそれを見て、神と、すべての生き物、地上のすべての肉なるものとの間の永遠の契約を思い起こそう。」

9:17 神はノアに仰せられた。「これが、わたしと、地上のすべての肉なるものとの間に、わたしが立てた契約のしるしである。」

いのちについて神は、基本的な倫理観を与えます。動物は人を恐れるゆえに攻撃します。人は時には動物を殺しても、命と生活を守る必要が出てきます。また食用のために動物を殺すこともあります。それらは許されていることです。しかし命に対して無感覚にならないように、その尊厳を守るように教えられます。

それはなぜかと言えば、罪と救いの関係がすなわち死と命の関係だからです。この関係は密接に結びついています。

たとえ食用の動物であっても、血のまま…すなわち生きたまま苦しみを与えないが食することは、命に対する尊厳を麻痺させることになります。当然、人の命は何があつても尊ばれなければなりません。そうでないと、私たちのいのちのためにご自分のいのちを犠牲にしてくださったイエス様の愛と救いの価値がわからなくなってしまうでしょう。これは食べ方の律法ではなく、命の尊厳と救いの尊さについての教えです。

そして神は「大洪水が地を滅ぼす」ことはないと、希望の契約を与えてくださいます。神様からの方的な契約であり祝福です。まさに十字架の招きのように、無条件ですべての人に与えられているものなのです。

十字架の救いを尊ぶために、命の尊厳について考えましょう。また主が一方的に愛してくださいだされたことを心から感謝しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

